

2023（令和 5）年度
相模原看護専門学校
公募推薦・社会人入学試験

国語

（試験時間 50 分 配点 100 点）

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答する途中で、ページの落丁・乱丁や印刷不鮮明の箇所および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて試験監督者に知らせてください。
3. HB の黒鉛筆を使用し、訂正する場合は消しゴムで完全に消してからマークしてください。
4. 氏名を記入し、番号欄を正しくマークしてください。
5. 試験終了の合図と同時に解答を止め、鉛筆を置いてください。
6. 解答用紙は試験官の指示に従って提出してください。

問題一 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

もともと共通の言葉を話していた人間が、天まで届くバベルの塔を築こうとしたために、神の罰によって互いに通じないように言葉を乱されてしまった、と『聖書』は語っているが、情報ハイウェイ時代を迎えた今日、その混乱を克服すべく、人間は懸命の努力を払っている。バベルの塔にかわって、天にまで達する通信衛星を打ち上げ、情報が瞬時に飛び交い、違った言葉が同時に翻訳される時代に、いま、ぼくたちは生きているのだ。

しかし、いったん神の罰によって乱された言葉は、そうかんたんに ^a シュウ復されるものではない。ぼくらは翻訳することで異質の言葉を充分に理解できると思い込んでいるが、いかに技術が発達しても、 ¹ 異なった言語の真意を完全に通じ合わせるなど不可能なのではあるまいか。

むろん、通りいっぺんの解釈なら可能であろう。ある言語を長期にわたって研究し、習得すれば、かなりの程度、理解を深めることもできよう。けれど、価値観がまわりついている情緒的な表現——その代表は文学、ことに詩であろう——を完全に共感するなどというのは、できない相談というしかない。だから、人間はちがった言葉を使う数だけ、異なった情感の世界に住んでおり、異質の思考様式によって生きている、とみなすべきではなからうか。 ² 神の罰は、それほど手きびしい宿命を人類に科したのである。

だとすれば、人間に残されている道は、自分たちが使っている言葉の特質を、それぞれに思い知ること、その言葉によって形成されているおのれの考えの仕組を、できるかぎり自覚すること以外にあるまい。それが情報化時代に生きるぼくたちにとつての、最も大事な課題なのである。

では、 ³ 日本語で「考える」とは何を意味しているのだろう。『古語辞典』（岩波版）によれば、かつて、「かんがえ」は「カムカへ」と清音で用いられていた、という。ここからもうかがえるように、 ^b 原ギは「カ」を向き合わせることであった。「カ」とは、アリカ、スミカなどという「カ」、すなわち「所、点」を意味している。つまり、カムカへとは、「二つの物事をつき合わせて、その可否を調べただす」作業であり、だから、この語は「真偽を調べて罰する」ことでもあり、「あれこれ思ひはかる」「占いの結果を解釈する」ことも意味していた。

したがって、日本人は、まず、ものごとを向かい合わせ、両者を比較、検討することから思考を始めたとみてよい。そし

て、これは、きわめて、まっとうな道筋であったように思われる。が、さらに、推ソクしてみるなら、「力」とはたんに所（処）だけではなく、やがて他者すべてにひろがり、客体として意識されるもの全体をふくむようになっていったのではあるまいか。そして、すべての「力」＝客体と向き合っている自分が、それをムカへ（迎へる）という発想から「カムカへ」「かんがふ」という概念に達したにちがいない。『古語辞典』によれば、力は「彼」、すなわち「遠いものを指し示す語」でもあり、ムカフ（向かう）はムカへ（迎へ）へと通じている、とある。

そうした由来をたどると、「考える」という日本語は、対象を志向する心の作用とともに、外界を受容する働きの意味も併せ持っており、哲学における「認識論」を暗示していることになる。しかし、日本人は、このような「考える」という心の働きを、あらためて、筋道を立てて分析したり、解釈したりしようと試みなかった。ただ、直感的に体験するにとどまっていた。というのも、その手がかりになる抽象的な観念のほとんどを、外来の言語にゆだねてしまったからである。

考える、とは、まず、⁴ 具体的なものごとを抽象化することである。げんに、考えることを考えようとするなら、「考える」作用を、「考え」という概念に抽象して、対象化、客観化しなければならない。具体から抽象へ、というのが思考の第一条件なのだ。そこで、思考の道具ともいえるべき言語は、具体的な記述的表現から、抽象による概念の ソウ出へ、という発展過程をとる。日本語（やまことば）も、それを巧みにやってのけた。

たとえば、「動く」から「動き」へ、「教える」から「教え」へ、「眠る」から「眠り」へ、「喜ぶ」から「喜び」へ……というふうにある。こうした例は、挙げていけばきりが無い。さらに、日本人は「さ」とか、「み」という接尾語で、さまざまな事象を（心の状態もふくめて）みごとに抽象化していった。「美しい」という形容詞を「美しさ」という名詞＝一般概念に。「さびしい」を「さびしさ」、「速い」を「速さ」、「寒い」を「寒さ」、「弱い」を「弱さ」というぐあいに。

また、「み」を加えることで、性状を一般化することにも意を用いた。「恨む」を「恨み」、「重い」を「重み」、「悩む」を「悩み」、「取り組む」から「取り組み」というふうには。

こうした造語は、じつに見事な第一歩であった。なぜなら、さまざまな現象を、そのもの自体として考えるためには、それを概念、あるいは観念として意識のなかで客観化し、定着させねばならず、このようにして出来上がっていく概念を、さまたちに操作することにより、初めて思考は成立するからである。別言すれば、人間は言葉をつくりだす過程で、考えを

シン^eン化⁵させていくのだ。だから、「思⁵う」から「思⁶い」、あるいは「う⁷れし⁷い」から「う⁸れし⁸さ」、また、「話^eす」から「話⁶し」への第一歩こそ、思索の出発点にほかならないのである。

ところが、繰り返し述べたように、日本人がそのようにして思索を展開していく途上で、すでに日本より高度に文化を発達させていた異国から、抽象的な概念や観念が、つぎつぎに流入してきた。それによって、日本語の造語力はいつの間にか失われ、日本人の抽象能力は、すっかり弱められてしまった。それらの外来語を、そっくり代用すること。

日本人が抽象的な思索を苦手とするのは、⁹そのゆえである。

そんなわけで、日本では哲学が育たなかった。哲学とは人生の意味を求める学問である。生きるとは何か、自分とは何者か、という根源的な疑問に対する挑戦、と言ってもいい。そのような大切な探求であるにもかかわらず、哲学は難解な“抽象論”とみなされ、敬遠されることになった。そして、そのかわりをつとめたのが文学だった。文学は具体的な現象を、暗示的に、象徴的に描き出すものだからである。

（森本哲郎『ぼくの哲学日記』より）

問一 傍線 a ～ e のカタカナと同じ漢字を使うカタカナを、次の各群の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選び、マークせよ。

解答番号は a 〓 1 ・ b 〓 2 ・ c 〓 3 ・ d 〓 4 ・ e 〓 5 。

a シュウ復

- ④ ③ ② ①
- 慣シュウに従う。
シュウ辺を探索する。
切手をシュウ集する。
生物学を履シュウする。

b 原ギ

- ④ ③ ② ①
- 礼ギを尽くす。
ギ務を果たす。
ギ牲者を追悼する。
虫がギ態する。

c 推ソク

- ④ ③ ② ①
- 説明を補ソクする。
距離をソク定する。
ソク面を削る。
ソク成で栽培する。

d ソウ出

- ④ ③ ② ①
- 時期が尚ソウだ。
借金をソウ殺する。
ソウ業から百年経つ。
未来をソウ像する。

e シン化

- ④ ③ ② ①
- シン山幽谷
興味シン々
シン機一転
天シン爛漫

問二

傍線1「異なった言語の真意を完全に通じ合わせるなど不可能なのではあるまいか」について、この理由を述べた文として間違っているものを一つ選び、記号をマークせよ。解答番号は 6。

- ① それぞれの言語には、代表的な文学や詩の世界があるから。
- ② それぞれの言語には、異質の思考様式があるから。
- ③ それぞれの言語には、価値観がまつわりついている情緒的な表現があるから。
- ④ それぞれの言語には、異なった情感の世界があるから。

問三

傍線2「神の罰」を説明する内容としてふさわしいものを一つ選び、記号をマークせよ。解答番号は 7。

- ① 言葉は嘘をも作り出してしまったこと。
- ② 混乱を克服する努力を強いられていること。
- ③ 現在の世界が多言語になっていること。
- ④ 現在の世界の言葉が乱されてしまったこと。

問四

傍線3「日本語で「考える」とは何を意味しているのだろう」に対する答えとして間違っているものを一つ選び、記号をマークせよ。解答番号は 8。

- ① 対象を志向する心の作用とともに、外界を受容する働き。
- ② 筋道を立てて分析したり、解釈しようと試みること。
- ③ ものごとを向かい合わせ、両者を比較検討すること。
- ④ 真偽を調べて罰することや、占いの結果を解釈すること。

問五 傍線4「具体的なものごとを抽象化すること」の例としてふさわしいものを一つ選び、記号をマークせよ。

解答番号は 9。

- ① 月、虫、紅葉を抽象化すると秋になる。
- ② 政治、経済、法律を抽象化すると社会になる。
- ③ ペン、消しゴム、ノートを抽象化すると文房具になる。
- ④ 食べ物、服装、趣味を抽象化すると好みになる。

問六 傍線5「思う」、6「思い」、7「うれしい」、8「うれしさ」の品詞をそれぞれ一つずつ選び、記号をマークせよ。

(同じ記号を繰り返し使ってよい。 解答番号は 5 10 ・ 6 11 ・ 7 12 ・ 8 13。

- ① 名詞
- ② 動詞
- ③ 形容詞
- ④ 形容動詞

問七 傍線9「そのゆえ」の「その」が指す内容を一つ選び、記号をマークせよ。 解答番号は 14。

- ① 具体的な記述表現から抽象による概念作りを巧みにやってのけたこと。
- ② 異国から入ってきた抽象的な概念や観念を外来語としてそのまま使ったこと。
- ③ 接尾語を工夫することさまざまな事象をみごとに抽象化していったこと。
- ④ 根源的な疑問に挑戦する哲学は難解な抽象論とみなされ敬遠されたこと。

問八 本文全体の内容に合致しないもの一つを選び、記号をマークせよ。 解答番号は 15。

- ① 日本において、人生の意味を考える方法は、哲学よりもむしろ文学の方だった。
- ② 考えるということは、身近な現実を概念として対象化して、客観化することから出発する。
- ③ 人間は言語の数だけ異なった思考様式をもっているから、抽象化することで相互理解が可能になる。
- ④ グローバリゼーションの時代に生きているからこそ、自国語の特質を知ることによって自分の思考様式を自覚する必要がある。

問題二 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

さて私が医学の関係者によって発言される¹ナラティヴという言葉が最初に聞いたのは、看護師さんたちの集まりでのことでした。それも若い看護師さんが、自分と患者との間の話し合いをどのようにして効果的なものにするかをさぐる、という方向づけで。若い看護師が、具体的な経験として患者との話し合いをノートにまとめて仲間たちの前で発表し、それを互いに批評し合う学習について。こうした発表と批評は、具体的な例が重ねられるにつれて、発表者も批評する側も進歩してゆくものであつて（それは小説の実作と批評の関係をもとに、私として押しはかるのですが）、たとえば私のような小説家が、一般論として口を出しても、それが有効かどうかには疑いがあります。そこで私は、その病院で看護師さんの指導に責任ある立場の方から、²自分らの読書会に加わらないか、と誘われながら、辞退しました。それでも私には、実際の看護の場で、ナラティヴの技術ということを焦点に具体的な実例が報告され、仲間たちで批評しあうということが行われていると知って心強く思いました。

その際の印象につないで、あらためて感銘を受けた最近の体験があります。小児外科学会での催しに呼んでいただいた機会に、その学会が開かれている場所に前夜から到着し、早朝の実際の討論を傍聴させてもらつて、感じ考えたことです。

もともと私がそこで話をするをお引き受けしたのも、ひとつの言葉への小説家としての関心がきっかけでした。地方都市に話をしに行った会場の、講師控え室で、若い女性の医師から、私には耳なれない（それだけに衝迫力のある）ひとつの言葉を聞いたのです。子供への「侵襲」³、その恐ろしい語感の言葉に私はとらえられました。問い返すと、「外科侵襲」という言い方に戻って説明してもらいました。自分らは赤んぼうの時期に外科手術を受けた子供のその後の成長における、身体的、心理的な影響について次の学会で討論することになっている、ともいわれました。また英語では（そうしたことを私がよく質問するのは、様ざまな分野での専門用語を、それが翻訳によって作られた、もともとの外国語と対比すると、門外⁴ A にも近付き方が容易に感じられることがあるからです）stress。帰宅して英和大辞典のstressの語義のなかに、医学用語としての「侵襲」を見出したところには、この学会で企画されているという「外科侵襲と精神発達」というシンポジウムを傍聴させていただくために、⁴自分がその学会で一般向けの話をする方も引き受けよう、と思い立っていました。それというのも、光がまだ赤んぼうの時に受けた二度の大きい手術が、「外科侵襲」の影響をかれの発達にあたえているとし

たら、と考え始めていたからです。

ほぼ一年たつて当の学会の特別企画のホールに坐っていた私は、思いがけずもうひとつの個人的な接近ルートを見出しました。「外科侵襲」が小児科の小さな患者にとつてどういうことか、その最初の問題提起から興味深い発表でしたが、私とくに引きつけたのは、神戸の施設で「外科侵襲」のもたらしたものに苦しむ子供たちのためにカウンセリングを担当している、娘さんといいたような方が、その仕事の上での言葉の大切さをいうのにナラティブという言葉を使われたのです。小説家の世界でいいますと、あまりしばしばではありませんが、いま文芸誌の評論や ^a座談会に見られるナラティブという言葉は、小説の語り方、物語の展開という課題としてとらえられていると感じはしますが、この国の社会にこの国の言葉で小説家として生きる現実によく根ざしてのことか、と疑われるような場合が多いように思います。たとえば外国文学におけるナラティブの新傾向というような……

しかし傷ついた子供たちの医療の現場、黙りがちな子供へのコンサルティングの場所で、この若い女性カウンセラーが、個々の子供と共有した経験を語りながら使うナラティブという言葉は、まさに語る人、語られる ^b状況の實際をまるごと表現するものであったのです。カウンセラーはそのようにして、苦しみを持つている子供たちが、具体的な幼年時の外科手術の痛みや恐怖やら、長い入院生活での孤立やらによるストレス「侵襲」のもたらしたものによって、身体の発育の遅れや、言語の発達状況を、現にいま ^cニなっていることを語りました。それにどう ^d対シヨするか？

私がさらに印象を受けたのは、会議のパネラーたちがみな、この娘さんよりずっと経験も学識もある人たちと見てとれる医師、心理学者でしたが、⁵明日からのカウンセリングにそのまま有効だろうと思える批評や助言を繰り出されたことです。小さな患者がカウンセラーに向けて語るナラティブが、孤独な心の独り語りを、ただそのままカウンセラーに向けたものとなりがちなこと。もつと一般的に、この日本のテレビ全盛社会でコミュニケーションはテレビ相手の一方向的なナラティブ受け入れが ^e常タイとなっており、むしろ真のコミュニケーションの欠落をもたらしている、という指摘もされました。

苦痛を経験した子供がコミュニケーションから後退しやすい例を手がかりに、ナラティブが内面化してしまう方向にある場合と、外へ向かう方向にある場合をくつきり ⁶分節化し、内面の言葉でたしかめられた経験の、他者との共有という、私ら小説家にも大切な表現の課題が示される進み行きともなりました。そしてこの特別企画を立ち上げられた医学者による、

narrative based medicine（思えばそれは私が最初に看護師さんたちの集まりに行った時、病院の指導層の方から聞いた言葉でした）、ナラティブに根ざした医療というまとめが、小説による表現によって、内面の課題を社会的な表現にしたいとねがっている私らへの、反省の道を示してくれるものですらあったように思います。

そして障害者の父親としての私には、光が身体的な問題点こそあれ、その四肢の発達を見るからにしっかりとおり、知的障害は見あやまつことができないけれど、それでいながら必要があれば、個性のある言語表現を行い、その最小限の言葉をおぎなうものとして、かれに音楽があるのをみれば、かれの表現能力は私らの予想をはるかに越えたものになっている。そしてそのことが、私らの家庭での教育の出発点の段階では、光と家内の間の（もっと成長してからは光と長女の間の）ナラティブのコミュニケーションによる成果だ、と納得することもできたのです。

（大江健三郎『「伝える言葉」プラス』より）

問一 傍線 a～e のカタカナと同じ漢字を使うカタカナを、次の各群の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選び、マークせよ。

解答番号は a 〓 16 ・ b 〓 17 ・ c 〓 18 ・ d 〓 19 ・ e 〓 20。

a

座ダン会

16

- ④ ③ ② ①
- チームがダン結する。
やりくりを算ダンする。
友人とダン笑する。
ストをダン行する。

b

状キヨウ

17

- ④ ③ ② ①
- 実キヨウ中継を聞く。
不キヨウ和音が響く。
キヨウ遇を語る。
知らせにキヨウ嘆する。

c

ニナつて

18

- ④ ③ ② ①
- 責ニンをとる。
仕事をイ託する。
司会をタン当する。
負力をかける。

d

対シヨ

19

- ④ ③ ② ①
- シヨ気払いする。
寄付金をシヨ望する。
不用品をシヨ分する。
名家の由シヨを知る。

e

常タイ

20

- ④ ③ ② ①
- 自然タイに構える。
タイ路を断つ。
丁寧なタイ応する。
緊急な事タイに遭う。

問二 傍線1「ナラティブ」の意味としてふさわしいものを一つ選び、記号をマークせよ。解答番号は 21。

- ① 手当 ② 癒し ③ 痛み ④ 語り

問三 傍線2「自分らの読書会に加わらないか、と誘われながら、辞退しました」について、この理由としてふさわしいものを一つ選び、記号をマークせよ。解答番号は 22。

- ① 医学の関係者の読書会に、小説家としての見解を述べても役に立つかどうかが疑わしいから。
② 実際の看護の場で、ナラティブの技術に関する実例が報告されていることを心強く思ったから。
③ 小説家の自分には、医学関係の議論に参加する知識が不足していると判断したから。
④ 小説家として一つの言葉に関心を持つことと、医学関係の読書会に参加することは両立しないから。

問四 傍線3「自分ら」を指すものとして最も中心的なものを一つ選び、記号をマークせよ。解答番号は 23。

- ① 心理学者たち ② 若い看護師たち ③ 小児外科医たち ④ 医学関係者たち

問五 「門外 A」について、Aに入る適切な語を一つ選び、記号をマークせよ。解答番号は 24。

- ① 者 ② 家 ③ 人 ④ 漢

問六 傍線4「自分がその学会で一般向けの話をする方も引き受けよう、と思い立っていました」について、この理由としてふさわしいものを一つ選び、記号をマークせよ。解答番号は 25。

- ① ナラティブの技術と「外科侵襲」の関係について、具体的な実例報告を聞いたから。
② 「外科侵襲」のもたらしたものに苦しむ子どもたちのカウンセリングの中に、ナラティブという言葉を見つけたから。
③ 「侵襲」という恐ろしい語感をもつ言葉の中に、小説家として強い好奇心を抱いたから。
④ 障害者の父親として、子どもが「外科侵襲」の影響を受けている可能性に思い至ったから。

問七 傍線5「明日からのカウンセリングにそのまま有効だろうと思える批評や助言を繰り出されたことです」について、この

内容を説明する上でふさわしくないものを一つ選び、記号をマークせよ。解答番号は 26。

- ① 有用的 ② 理念的 ③ 実践的 ④ 即効的

問八 傍線6「分節化」の意味に相当するものを一つ選び、記号をマークせよ。解答番号は 27。

- ① 説明 ② 分析 ③ 解明 ④ 区別

問九 本文の内容に合致しないものを一つ選び、記号をマークせよ。解答番号は 28。

- ① 現代の日本の小説家が文芸誌の評論で時折使うナラティブという言葉は、日本語の現実によく根ざしているのか疑わしい。

- ② 筆者は、自分の家族がナラティブという言葉を知らなかったのに、ナラティブのコミュニケーションを日常的に行なっていたことを認識した。

- ③ 小児外科学会では、幼少期に外科手術を受けた子どもが成長した後に残る身体的・心理的な影響について討論されることになっている。

- ④ 小説による表現は、内面の課題を社会的な表現にすることだが、医療現場のナラティブの技術には本質的な共通点を見いだすことができる。

問十 筆者大江健三郎は日本人で二人目のノーベル文学賞受賞者である。一人目の受賞者を選び、記号をマークせよ。解答番号は 29。

- ① 谷崎潤一郎 ② 川端康成 ③ 三島由紀夫 ④ 安部公房

《以下余白》